



↑水揚げされたキハダマグロと濱さん兄弟（写真右上）

★ 温暖化の影響!? 定置網に大物キハダマグロ

10月25日、薄井漁港に珍しい魚が水揚げされました。水揚げされたのは、約170kgのキハダマグロで、その重さは約60kg。

水揚げしたのは宮ノ浦集落の濱常人さん、弘展さん兄弟で、この日の朝、沖に仕掛けてある定置網に大きなキハダマグロが入っているのを見つけました。すぐに父親の利範さんに連絡。親子3人で網を絞りあげ、船の上へクレーンを使って揚げました。濱さんらは、マグロが痛まないよう、はらわたとエラを素早く取り除き氷水でしめました。

濱さん親子は「網の構造を変えてから、ここ数年の間に年に1～2回程度、南洋系の大きな魚が掛かるようになった。以前は本マグロが入っていたこともある。温暖化の影響ではないか」と不思議そうに話しました。

★ 同期生対抗バレーボール大会 会場沸かせる熱い戦い

10月20日から30日、同期生対抗バレーボール大会が総合町民体育館で開催されました。

40歳以下と41歳以上の2部に合わせて46チームが参加し、連夜、熱戦を展開しました。

大会結果は次のとおりです。

1部（40歳以下）

[優勝] ゴロゴンズ（40歳組）

2部（41歳以上）

[優勝] 生活部（44歳組）



↑熱戦を繰り広げた大会の1シーン



↑手ほどきを受け、弓矢で的を狙う児童ら

★ 古墳まつりを開催 長島の歴史を知ろう

10月18日、第21回長島古墳まつりが、ながしま風車公園でありました。

町内の小学生とその保護者ら合わせて約170人が参加しました。

祭りでは、弓矢体験や勾玉づくり、火おこしなど古代の生活を実際に体験しました。

男子には特に弓矢体験が人気で、数^{まがたま}先の的を狙うものの、なかなか的を射ることができず苦戦していました。